令和６年度　「STEAM探究教育」に関する調査・研究

東大阪市教育センター　調査・研究チーム
景山　功嗣　　鈴木　雄一朗　　瀬越　千文
関田　将人　　田中　寛章

【要　旨】
令和５年度に続き、STEAM 教育を通じて子どもたちの主体的・協働的な学びを促進するための調査・研究を行った。令和６年度は５校を研究協力校とし、探究のサイクル（課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現）に基づく実践を進めた。各校では、環境問題やインクルーシブ社会、地域活性化などの社会課題に取り組み、フィールドワークや地域人材との交流を通じて学びを深めた。アンケート結果からは、課題に対する主体的な姿勢や協働性、自己肯定感の向上が見られた。また、教職員も学びのサポート役としての支援を通じて、指導観や授業観に変容が生まれた。今後は、効果的な支援の在り方や教育効果のさらなる検証を進め、STEAM 探究教育の実践を広げていくことが求められる。

【キーワード】　**探究的な学び　　探究のサイクル　　試行錯誤　　教科等横断的な学習　　カリキュラム・マネジメント　　非認知能力**

１　調査・研究の目的

東大阪市教育センターでは、令和５年度より、各教科での学習を実社会における課題発見と解決に生かしていくための教科横断的な教育である「STEAM 教育」の調査・研究を進めている。

STEAM とは Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学・ものづくり）、Art/Arts（芸術、リベラルアーツ）Mathematics（数学）の頭文字をとった言葉である。社会とテクノロジーの関係がますます密接になっていくこれからの AI 時代、この５つの領域の理解と学びを具体化する能力がますます必要となる。また、STEAM 教育において展開される「探究的な学び」について、『学習指導要領（平成 29 年告示）解説　総合的な学習の時間編』では「探究的な学習とは、物事の本質を探って見極めようとする一連の知的営みのことである」と示されている。こうした「探究的な学び」が、子どもたちの主体性や協働性、創造性において前向きな変容をもたらし、教職員の指導観や授業観の転換につながることは、昨年度の調査・研究実践からも見とることができた。令和６年度はその成果をふまえ、縄手北小学校・縄手東小学校・縄手北中学校・上小阪小学校・上小阪中学校の５校を研究協力校とし、「探究的な学び」の理解をいっそう深め、教育効果をより明らかにするとともに、効果的な支援や今後に向けての課題について考察することを目的として「STEAM 探究教育」の調査・研究を進めることとした。

２　各校の取組み概要

探究のサイクルのプロセスである「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」に基づいて実践した協力校５校の取組み概要は以下の通りである。

（１）上小阪小学校

「環境問題をもとにした探究活動を通して日本と世界について学ぶ」をテーマに、４年生が取り組んだ。まず出会いの場として専門家より、家庭で使われなくなったものの中に使える金属があるということを教えていただき、環境問題がとても身近にあることについて考えた。そして、出前授業や PC 解体ワー

クショップ、ゲストティーチャーによる講話を通して海外のごみ事情や海洋プラスチックゴミの現状等について学んだ。これらの出会いを通して興味・関心をもったテーマをもとに、子どもたち一人ひとりが課題の設定を行った。設定したテーマについての表現に向けて、集めたごみを使ってものづくりをしたり、必要な情報の収集や整理・分析を行ったりした。先行で実施している、上小阪中学校の取組み報告を聞くことで、探究的な学びを感じる機会となった。まとめ・表現の場としては、学習発表会で保護者に向けて報告を行い、その後、他学年に向けても報告を行った。

PC 解体ワークショップ

課題の設定

小中交流

学習発表会

（２）上小阪中学校

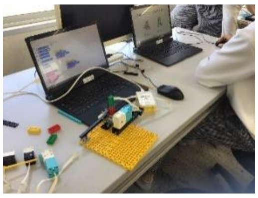
「インクルーシブな社会や文化を構築する」をテーマに１年生が取り組んだ。

活動の初期段階では、車いすを利用する方々との交流や白杖体験、車いす体験を行った。この経験をもとに、生徒たちは自分たちが解決したい課題をそれぞれのグループで設定し、インターネットや書籍を使ったリサーチや当事者へのインタビューを通じて情報を収集した。その後、自分たちの考えをまとめて、昨年度 STEAM 探究教育に取り組んだ２年生に対してプレゼン形式で報告を行った。２年生からアドバイスを受け、さらに課題解決の方向性を改善していった。そして、社会課題に対して困り感をもつ方々との「出会いなおし」を行い、自分たちが取り組もうとしている課題についてより広い視点で考える機会を得た。こうした出会いや他者からのフィードバックをもとに、生徒たちは課題解決に向けた新たなアイデアを検討し、3D プリンターを使って自分たちの考えた解決策を具体的な形にしたり、プログラミング機器を活用して社会課題の解決に役立つモノづくりに取り組んだ。作成した成果物や探究の過程をポスターにまとめ、中学校区での学びを交流する場で教職員向けにポスターセッションを行った。教職員から受けた具体的なフィードバックをもとに、プレゼンテーションの内容をさらに磨き上げ、今度は参観で保護者に向けてポスターセッションを行い、これまでの成果を広く発表した。さらに、同じ中学校ブロックの小学４年生に向けても発表をした。発表の対象を意識しながら、伝わりやすい言葉を選びなおす等、表現方法を工夫し、行った。

課題の設定

情報収集

まとめ・表現


整理・分析

まとめ・表現

（３）縄手北小学校

「商店街における自分たちの役割を考える」をテーマとして６年生が取り組んだ。

子どもたちが自分たちの身近にある商店街について知り、誇りをもってもらいたいという教職員の思いもあり、探究を始めるにあたり、実際に商店街へ行き、普段何気なく見ていたところを様々な視点で見ることから始めた。商店街の方から「商店街を活性化させたい」、「最近、商店街に元気がない」という話

を聞き、子どもたち自身が「商店街の現状」に出会い、自分たちの商店街を盛り上げていこうという思いをもった。各自がどのように商店街を盛り上げるかを考え、課題の設定を行い、探究学習を始めた。情報の収集として商店街の理事長から改めて商店街の現状や困りごと等を伺い、また、インターネットを利用して他の商店街のことを調べたり、再び商店街へ行ったりした。調べていくうちに新たな課題を発見し、また情報を集めるということを繰り返す中で、商店街の魅力に改めて出会うことができた。そうすることで、自分事として商店街を何とかしたいという気持ちが大きくなった。そして、設定した課題の近い子どもどうしでグループとなり、多様な視点から協働的に取り組み、整理・分析を重ねたことで、商店街を盛り上げるための活動を加速させた。まとめ・表現では、地域の福祉施設の協力を得ながら考案した商品の販売や商店街をきれいにするクリーン作戦など、各グループが考えた様々な企画に取り組んだ。

商店街を歩く

お店の人にインタビュー

整理・分析

まとめ・表現

（４）縄手東小学校

「枚岡神社の祭りをもとに、学んだ文化や伝統を全国に発信する」をテーマに４年生が取り組んだ。

初めに、出会いとして交野市の祭囃子の方から、コロナ禍後にできた祭りの話を聞かせてもらった。そして、夢 TRY 科「あんしんなまちづくり」では「ふれあいまつり」について、社会科では「大阪府に伝わる伝統的な祭り」について学習した。こうした様々な学習対象との出会いが、地域の伝統的な「枚岡祭り」について着目するきっかけとなった。太鼓台の担ぎ手不足や、祭りの際に出るごみ問題、来場者のマナーの問題などを知るうちに、祭りの存続について課題意識が高まっていった。枚岡祭りを未来につないでいくために自分たちにできることは何かと問い立て（課題の設定）をし、探究学習を行った。そこから、神主さんや地域の自治会長、自治連合会から話を聞くなどして、情報の収集を進めた。フィールドワークを改めて行うことにより、見慣れた風景の中にも、これまで気づくことのなかった神社の魅力や発見に出会うこともできた。このようにして自分たちでつかんだ情報を整理・分析しながら、枚岡神社の祭りを未来につなげるためには「誰に」「どのように」提示すればよいのか、相手意識を明確にしながら、プロトタイプ（試作品）をつくるなど試行錯誤を重ねた。まとめ・表現では、地域・保護者・他学年に向けてポスターセッション形式でグループ発表を行った。多くのフィードバックから得た新たな気づきについてグループで見直し、「発表の仕方をもっと工夫すればよかった。」「枚岡祭りのことがもっと好きになった。」「違うテーマで STEAM 探究教育に取り組んでみたい。」など対話することで、取り組んできた活動に自信を持つとともに、次への探究学習への期待を膨らませることができた。

祭囃子の方との出会い

神社へのフィールドワーク

整理・分析

まとめ・表現

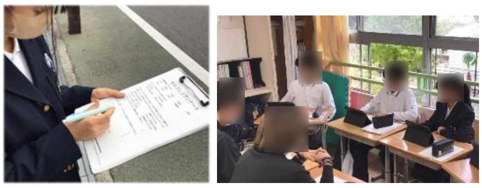
（５）縄手北中学校

「自分たちで見出した社会課題の解決に向けて探究する」をテーマに、２年生が取り組んだ。

まず身近な人やテレビ・新聞などで知った人の中から「困っている人」について考え、「誹謗中傷をなくすこと」や「室内で熱中症になっている人を救うこと」など、各班に分かれて課題の設定を行った。そこから「原因」や「助けるアイデア」を話し合い（情報の収集・整理・分析）、「困っている人にとっての理想の状態とはどんな状態か」「実現可能か」といった視点から、企画の交流や意見交換を行った（まとめ・表現）。

２周目の探究のサイクルでは、改めて課題について考え、必要に応じて商店街にアンケートを取りに行ったり専門家にインタビューを取りに行ったりするなど情報の収集と整理・分析を行った。まとめ・表現の場としては、保護者を招いての取組み報告会を設定し、それぞれの取組みの過程や今後の展望について発信・交流し合った。報告会後の振り返りには、「最初は、社会を変えることは大人やもっと偉い人しかできないと思っていたけれど、解決の方法や考え方に気づいていなかっただけで、私たちにできることもあるんだと思った。」「自分一人でもまず行動すれば、自然と助けてくれる人も出てきて、社会を変えていけると思った。」など、多様な視点や考え方に触れる良さを感じ、社会課題に対して関心を深める振り返りが見られた。

課題の設定



アンケート調査・インタビュー

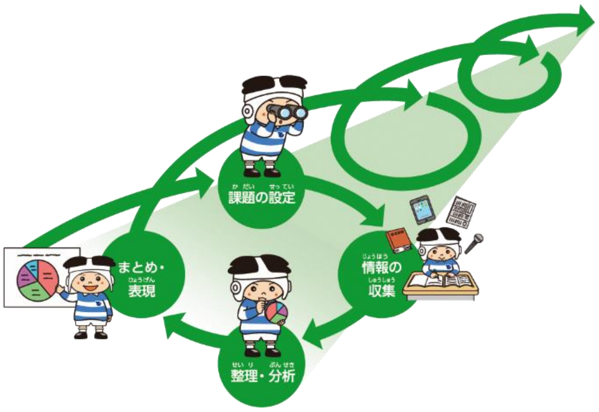
取組み報告会

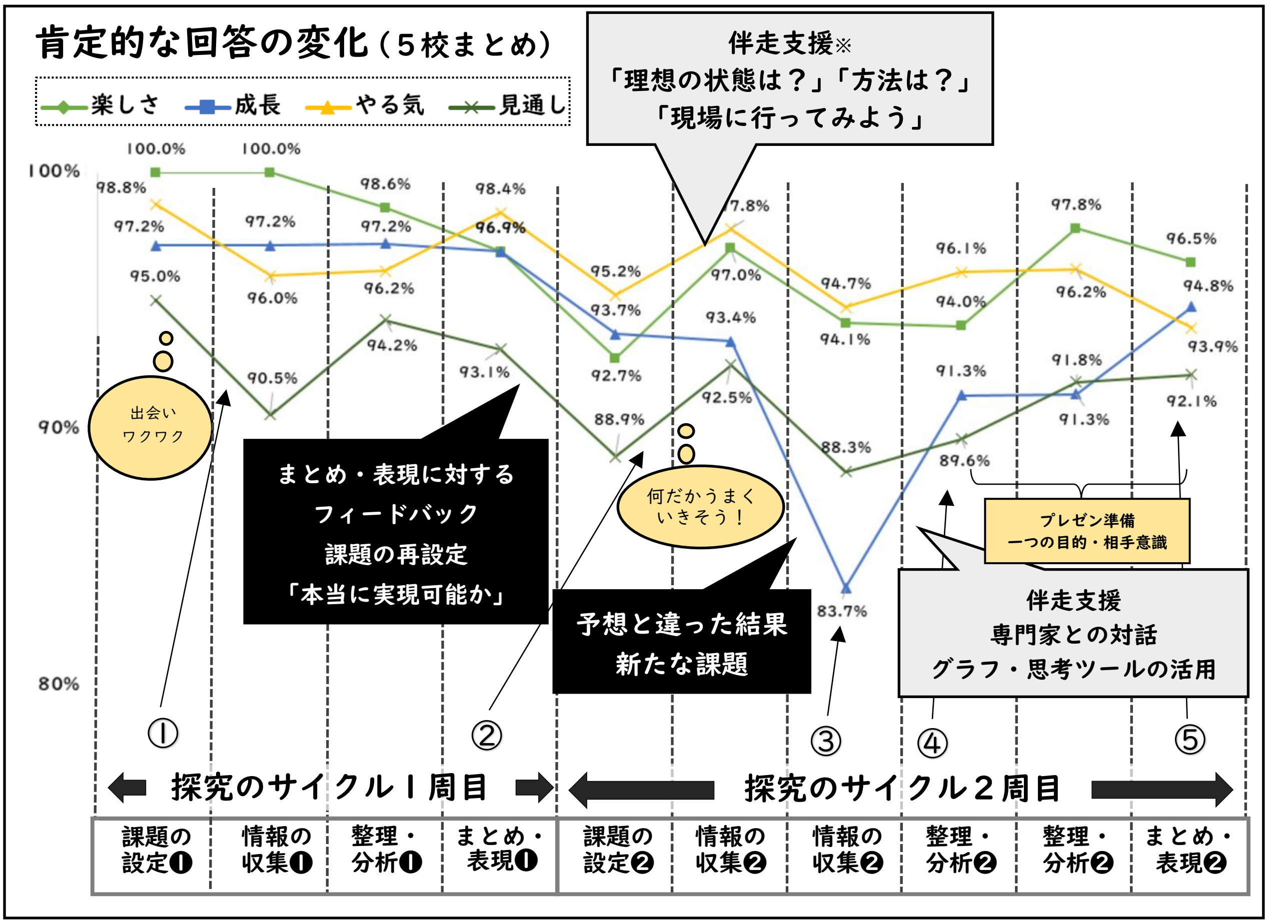
３　子どもの変容

今回の調査・研究にあたり、「授業ごと」と「単元前後」の２種類のアンケートをとった。それぞれの変化と考察を以下に示す。

（１）授業ごとのアンケート結果より

アンケート項目
１）今日の学習はどうでしたか？
「とても楽しかった/楽しかった/あまり楽しくなかった/楽しくなかった」
２）成長できましたか？
「とてもそう思う/そう思う/あまりそう思わない/思わない」
３）やる気をもって取り組みましたか？
「当てはまる/やや当てはまる/やや当てはまらない/当てはまらない」
４）次へのつながりを見つけることができましたか？
「とても見えてきた/見えてきた/あまり見えてきていない/見えてこない」





※伴走支援…教師は学びのサポート役であり、伴走者と呼ばれることがある。
「理想（100%）の状態は？今は何％？」「どうすればうまくいくだろう？」と思考を促したり、「専門家に聞いてみるのもいいかも」と解決の糸口を示唆したりすることで、子どもたちの探究的な学びを支援することを目的とする。

①課題設定の難しさ－１度目の数値の下降－（探究のサイクル１周目「課題の設定❶」）

PC の解体ワークショップや地域の方との交流、商店街へのフィールドワークなど、学習対象との魅力的な出会いにより、「楽しさ」の数値が非常に高い。しかし、そこから課題設定を行うにあたり、「何から始めれば良いのだろう？」とまだ慣れない探究学習の進め方に戸惑う姿も見られた。また、設定した課題が身近な社会からかけ離れていると、解決のためのアイデアや具体的な行動を想像しにくく、自

分事として捉えにくい様子であった。

②対話からの気づきー下降した数値からの上昇ー（探究のサイクル２周目「課題の設定❷」）

他者との対話により、新たな問いや気づきが見つかったり、思考を深めたりすることができた。また、自己の課題について目的意識や相手意識が明確になったことで、各項目において数値の上昇が見られた。子どもたちのアンケート記述からは、「みんなで話をして、また違う視点から課題を見たら、違う解決策を見つけることができた。」など、探究的な学びに取り組む良さの１つである「異なる視点から考え協働的に学ぶ」様子も見とることができる。

③困難や挫折の経験ー２度目の数値の下降ー（探究のサイクル２周目「情報の収集❷」）

課題の解決方法を具体的に考えていくうち、その困難さに何度も行き詰まったり、調査結果が予想に反したものとなったりしたことで、各項目について数値の下降が見られた。しかし、その後も粘り強く課題や集めた情報について見直し、伴走支援する教職員との対話や自分たちで意見交換を繰り返したことで、少しずつ課題の解決に見通しがもてるようになっていった。

④目的・相手意識の向上（探究のサイクル２周目「整理・分析❷」）

まとめ・表現の機会が設定されたことで、目的意識や相手意識がより明確になるとともに、班の企画が具体的に形づくられていった。より相手に伝わりやすくするために情報を再構成し、表現方法を選択したことで、既存の経験や知識と、学習活動により整理・分析された情報とが結びつき、自身の考えが明らかとなり、新たな問いが生まれた。実際に、改めて調査を行いたいと希望する班や「誰に届けたいのか、何を伝えたいのかがわかった」と振り返る子どもがいるなど、それぞれの項目で数値の上昇が見られた。

伴走支援した教職員もこの時の様子を「自分たちで情報を集めるほどに、課題がより自分事になり、楽しみながら学習を進めていくようになっていった。」と語るように、継続的に、自分たちで選択・価値判断をしていくことが求められる STEAM 探究教育の良さが表れたものと考えられる。

プロトタイプの作成

⑤まとめ・表現を終えて（探究のサイクル２周目「まとめ・表現❷」）

取組みを行った子どもたちは、多くのフィードバックと達成感を得ることができた。子どもの振り返りには「「みんなで協力して発表できた」「みんなと話して自分だけではなく一緒にやった」「みんなと一緒にやってあまり話してない人とも仲良くなれた」とあり、地域の方々・専門家などとの交流を通じて、一人でできないことも仲間がいることで成し遂げられることを理解するとともに、試行錯誤を繰り返しながら協働的に取り組む良さを実感を伴って理解していることが分かる。あらかじめ一つの決まった答えのない探究的な学びだからこそ見られる姿と言える。

商店街での呼びかけ（クリーン作戦）
開発したものの販売

伝える対象が変われば
伝え方も変わる

１回目のまとめ・表現から改善し、
違う相手に発信する

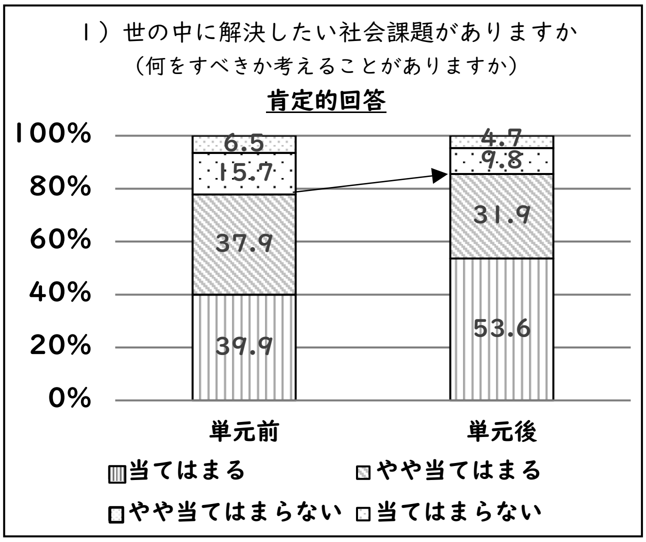
（２）単元前後のアンケート結果より

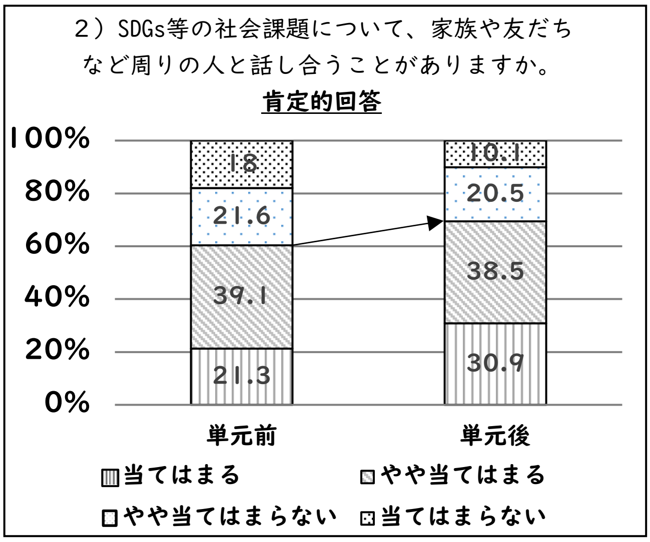
アンケート項目

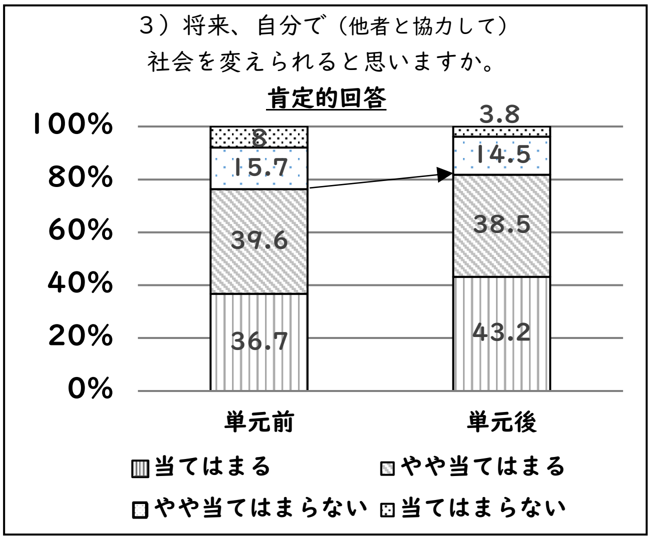
１）世の中に解決したい社会課題がありますか（何をすべきか考えることがありますか）。

２）SDGs 等の社会課題について、家族や友だちなど周りの人と話し合うことがありますか。

３）将来、自分で（他者と協力して）社会を変えられると思いますか。







単元前後における肯定的回答率（５校まとめ）の変化は以下の通りである。

「１）世の中に解決したい社会課題がありますか（何をすべきか考えることがありますか）」では 7.7 ポイント上昇し、特に、強い肯定については 13.7 ポイント上昇した。子どもの振り返りには「街で笑顔にしたい人を見かけたとき、気にかけるようになった」「今回の課題をもっと深く掘り下げて実行したい」とあり、社会課題に対する関心と主体的に関わろうとする態度に前向きな変化（学びの日常化）が表れている。

「２）SDGs 等の社会課題について、家族や友だちなど周りの人と話し合うことがありますか」では 9.0 ポイント上昇し、強い肯定については 9.6 ポイント上昇した。STEAM 探究教育での学びが言語活動の充実につながったことに加えて、高まった社会課題への関心から自然と対話が生まれたと推察される。

「３）将来、自分で（他者と協力して）社会を変えられると思いますか」では 5.4 ポイントの上昇が見られ、強い肯定については 6.5 ポイント上昇した。「大人だけでなく子どもでも解決できる問題があると分かった」という振り返りからは、子どもたちが自己効力感を高め、社会に影響を与えることができたことを実感できる学習であったことが分かる。一方で、「１）世の中に解決…」に対する強い肯定の上昇値（13.7 ポイント）と比較すると、課題解決の難しさも同時に感じていると言える。

また、子どもたちの成長について、伴走支援した教職員は以下のように話している。

- 地域の人や専門家から直接話を聞くことや調べることを通して、「じゃあもっとこうした方がいいのかな」「もっとこうしたい、もっと調べたい」と、自分たちで課題の解決方法を探り出すようになった。
- STEAM 探究教育で培った力が、他教科の学びにつながっている。主体性や協働性、論理的思考などの向上から、パフォーマンス課題※の解決がうまくなっている。
- アウトプットの機会がたくさんあり、対象が変わるたびに相手意識を持ってその方法を考えなおしていた。それが課題となり、繰り返し解決することで成長が見られた。
- 自己肯定感が上がった。（アウトプットの様子から）聞いてほしい・見てほしいが満たされていることが要因の１つと言える。
- 興味を持ったことに対して、自分から調べようとすることが増えた。また、自分の主観だけでなく、他者の意見を取り入れようとすることが増えた。
- 同級生だけでなく、商店街の方や福祉施設の方と会話する機会が何度もあったため、コミュニケーション能力が上がった子どもが多い。
- 見通しを持って行動できるようになった。今何をしなければいけないかを考えられる力がついた。期限のある課題を解決しようとした時に、段階を踏んで取り組むことができるようになった。
- 個々の良さが子どもたちの中で共有されていた。それぞれの特性を活かし、不得意を補い合いながら進めていくことができるようになった。

※パフォーマンス課題…様々な知識やスキルを総合して使いこなすことを求めるような、複雑な課題

このように、自ら設定した課題解決に向けて試行錯誤する子どもの姿から、探究的な学びが主体的・対話的で深い学びの実現につながることが感じられる教職員が多かったことが分かる。

４　教職員の変容

子どもたちは課題解決に向けて何度も行き詰まる場面を経験し、その度に試行錯誤しながら前へ進んできた。そうした子どもたちの様子にふれながら、伴走支援する教職員にも指導観や授業観において変容が見られた。

- 大人が一番変わった。社会課題に対して大人がそもそも意識が低かったのではないかと思えるほど子どもに引っ張られるようにして自分事になっていった。
- 自分もわからない中で、子どもたちと共に悩みながら学びを進めてきたことが自然と伴走していたと気づくことができた。
- 「大人が答えを用意しないと」「正しいことにどう辿りつくかあらかじめゴールを見据えておかなければならない」という意識が強かったが、子どもたちなりに考え選択する姿に出会う中で、「これが探究しているということなんだ」と気づくとともに「待つ姿勢」や「子どもに委ねる姿勢」の大切さを学ぶことができた。
- STEAM（探究教育）の時間に輝く子どもの姿を見ることができた。私たち自身が授業づくりを変えていく必要があるのだと気づかされた。
- 課題の設定を子どもたち自身で行う大切さと難しさを感じた。また、低学年からそうした機会を経験し、積み上げていくことの必要性を強く感じた。
- 社会や国語など教科等横断的な取り組みを意識することはできたが、STEAM 探究教育を年間通して実施するとなると、もう少し見通しをもつべきだった。

さらに、本市で実施した「学びのトライアルアンケート」の「先生は、あなたの努力を認め、励ましてくれますか」という質問項目において、協力校５校ともに昨年度よりも肯定的回答率が上昇しており、教

職員の「子どもたちの学びを伴走し、支えていく」姿勢が子どもたちにも伝わっていると読み取ることができる。

５　カリキュラム・マネジメントの視点から

先述の「４　教職員の変容」で「社会や国語など教科等横断的な取り組みを意識することはできたが、STEAM 探究教育を年間通して実施するとなると、もう少し見通しをもつべきだった」と教職員の一人が話したように、STEAM 探究教育を進めるにあたっては、以下に示すようなカリキュラム・マネジメントの視点が重要である。

１つめは、教科等横断的な学びの計画と実施である。下に示した図①のように、国語科での「問いを立てながら聞くこと（４月）」や「プレゼンテーション（６月）」の内容を扱う単元で学んだことを STEAM 探究教育で活用し、そこで身に付けた力を「テーマを決めて話し合い、壁新聞をつくる（２月）」で発揮することにつなげることもできる。実際にはこうしたことが複数の教科を横断する形で進められ、各教科等で獲得した力を組み合わせながら活用することで、資質・能力の向上が図られることとなる。加えて、そのことが教職員の中だけでなく、子どもも見える化できるように図などで示されることで教育効果はいっそう高まると言えるだろう。

２つめは、地域人材の活用である。学校行事や総合的な学習の時間（未来市民教育）等において、地域のことを扱う場合、それらとつなげることで、子どもたちにとっての学びはより実感を伴ったものとなる（図②）。今回の調査・研究においても、地域のお店や福祉施設で働く方、神主さんとの対話やつながりが子どもたちや教職員の変容を促した。

このように、カリキュラム・マネジメントの視点をもつことで、探究的な学びの質的向上を図ることができる。

図①「教育活動年間計画（一部抜粋）①」

図②「教育活動年間計画（一部抜粋）②」

６　探究のサイクルにおけるそれぞれの成果と課題について

５校それぞれに特色ある取組みの中で、効果的なアプローチや今後に向けての課題が見られた点について以下に整理していきたい。

（１）課題の設定

いずれの学校においても、深く悩んだ部分である。子どもたちが「自分事」として課題意識をもつために「テーマをどこまで絞るのか」、「学習対象との出会わせ方はどうか」など多くの時間を取って計画を進めた。中には何度も課題の再設定をする班も見られた。

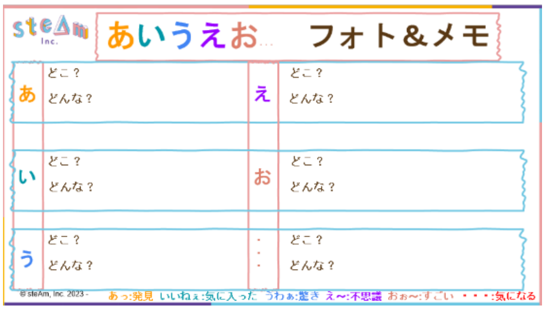
課題の設定について、『今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開』では以下の９つの方法が取り上げられている。

①体験活動から課題を設定する
②資料を比較して課題を設定する
③シミュレーション（リハーサル）を通して課題を設定する
④グラフを読み解いて（グラフの推移を予測して）課題を設定する
⑤ブレインストーミング※で課題を設定する
⑥KJ 法※的な手法で課題を設定する
⑦対象への憧れから課題を設定する
⑧ウェビング※でイメージを広げて課題を設定する
⑨問題を序列化して課題を設定する

※ブレインストーミング…複数人でアイデアを出し合い、新しい発想や問題解決を目的とした会議手法。
※KJ 法…カードや付箋を使って情報を整理・構造化し、問題解決や新たな発見につながる手法。
※ウェビング…キーワードに関連するワードを広げていくことでアイデアを整理したり、関係や傾向を見出したりする手法。

今回の実践において実際に効果的であったアプローチとしては、主に３つある。

１つめは、体験活動から課題を設定することである。上小阪小学校では、社会見学でごみ処理場へ行き、身の回りのごみがどのように処理されているかを知った。そして「都市鉱山」と呼ばれる家庭に眠る金属の情報を通して、実際に PC を解体するワークショップを行った。上小阪中学校では、地域の総合福祉施設を利用する方々と会い、ボッチャやゲームを一緒に行うことで、互いのことを知り合うことからはじめた。縄手北小学校では、実際にテーマである商店街に行き、「あいうえおフォト＆メモ」を使ってそれぞれの発見や不思議を、楽しみながら探し出した。



こうしたテーマに関わる人たちや学習対象との出会い・体験活動等の場が、学習への期待や主体的な学びへとつながった。

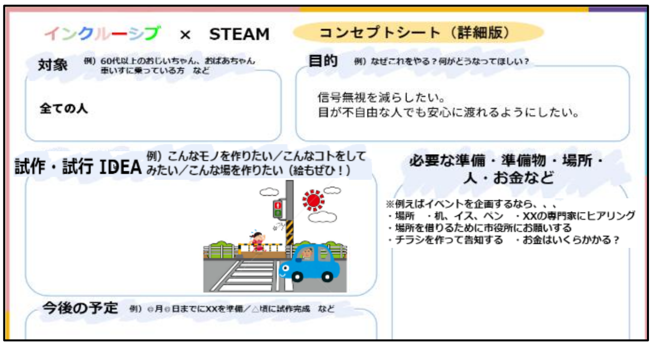
２つめは、ブレインストーミングで課題を設定することである。

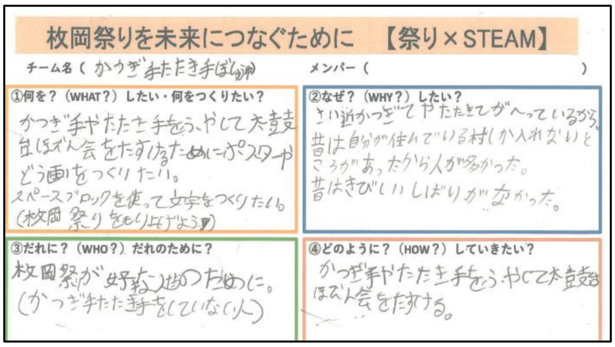
この方法には、テーマについて自由にアイデアを出し合いながら、新しい気づきを得ることができると

いう良さがある。とりわけ、課題の設定に行き詰まっている際、伴走者との対話の中からヒントを見つけ出す場面が多く見られた。「質ではなく量を求めること」「アイデアの付け足しや発展を積極的に行うこと」がポイントとなるようであった。子どもたちの自由な発想や肯定的に受け止め合う雰囲気づくりを大事にしたい。

３つめは、⑧⑨に関わるものとして企画やアイデア、構想をまとめた「コンセプトシート」の活用が挙げられる。これは、「各班での意識の共有」という点において有効であった。「対象」への思いを明確にしながら企画を考えることができ、「どのように実現させるか」という意識が高まっていった。また、取組み全体を通して活用することで、自分たちの班の方向性を一致させながら進めていくのにも役立った。

このように、課題の設定の場面において有効な手立ては多様に存在する。子どもたちが自ら課題意識をもつことは大切であるが、教師が何もせずに待つだけではそれはかなわない。子どもたちの実態に合わせて、上記のような意図的な働きかけをすることが重要であると言える。





（２）情報の収集

情報の収集においては、図書資料やインターネットの活用だけでなく、現地調査やインタビューも有効な手立てとして考えられる。

現地調査では、「外に出て遊ぶ子どもたちが少ないことを解決したい」と考えた班が、地域の公園に行ってその広さや遊具の数などを調べ、問題の原因や解決の糸口を探った。

インタビューは大きく２つの方法で行われた。１つは、商店街に出て不特定多数の人にインタビューをするもの。もう１つは特定の対象者に行うものである。前者では、年齢や性別などできるだけ幅広い層の人たちに声をかけることで、課題に対して傾向があるかなどを見取ろうとする班があった。「小学生」や「高齢者」などある程度対象者を限定する班もあり、それぞれ目的を明確にすることで効果的にインタビュー及びアンケート調査を行うことができていた。後者では、「視覚障害のある方」や「商店街の理事長」、「神主さん」、「地域ボランティアに関わる人」など設定した課題についての当事者や専門家に対して、対面もしくはオンラインでインタビューを行った。非常に多岐にわたる対象が挙げられたということは、それほどインタビューの目的が明確化されていたということを示している。

とりわけインタビューにおいては、聞くべきことを整理しながら計画する技能や、聞いたことを関連付けながらまとめる技能等、探究を進める中でより高度な技能が求められるようになる。また、身に付けた「知識及び技能」の中から、当面する課題の解決に必要なものを選択し、状況に応じて適用したり、複数の「知識及び技能」を組み合わせたりして、適切に活用できるようになっていく姿も期待される。

（３）整理・分析

収集した情報は、そのまま発表するのではなく、時間をかけて丁寧に整理・分析を行うことが大切である。まとめ・表現に向けて相手意識を明確にしながら、グラフやベン図、表など様々な方法で整理・分析

をすることで、さらに考えを深めることができる。今回、ロイロノートの機能を活用して思考を具現化したり、情報の共有や意見交換をしたりすることで、探究が深まる班もあった。

『今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）』では、「主体的に取り組むこと」「協働的に取り組むこと」がよりよい課題解決につながるとした上で、以下のように続けられている。「他方、複雑な現代社会においては、ある問題に対して一人だけの力で何かを成し遂げることは困難である。これが、協働的に探究を進めることが求められる理由である。例えば、他の生徒と協働的に取り組むことで、学習活動が発展したり課題への意識が高まったりする。異なる見方があることで解決への糸口もつかみやすくなる。」この場面においても、教職員の声かけや自分たち同士での対話などによって、新たな課題が見つかりさらに調査を行うことを計画する班が見られた。このように、探究のサイクルを固定的に捉える必要はなく、活動の順序を入れ替えたり、ある活動を重点的に行ったりすることについて、柔軟に対応していくことも大事にしたい。

情報のグラフ化

再調査

（４）まとめ・表現

今回の実践では、いずれの学校においても「総合的な学習の時間」を軸にして単元を設定した。そのため、各教科での学習経験を活かしながら、以下のような方法でまとめ・表現の機会を設定することが考えられる。

①保護者や地域社会などに向けた報告会でまとめ・表現する
②ポスターセッションを行いまとめ・表現する
③パンフレットでまとめ・表現する
④制作・ものづくりとしてまとめ・表現する
⑤社会への参画を通してまとめ・表現する

①は、「自分たちが取り組んできた活動の成果等について、広く社会に発信することによって、達成感や自己肯定感、協働的に学び合うことのよさを実感することにつながる」という良さがある。今回、同じ学年や中学校区の子ども同士、保護者など幅広い参加者（報告を聞いた人）から、感想や意見をもらう場を設定したことで、自分たちの取組みに対するブラッシュアップ※や達成感につながった。

※ブラッシュアップ…よりよくすること。みがきあげること。

ポスターセッションの様子

②は、「発表内容に関心をもっている聞き手に向けて発表するため、聞き手にとって理解しやすく、発表者にとっても聞き手との質疑応答や意見交換をして自分の考えを深めたり新たな視点を得たりすることが期待できる」という良さがある。実際にポスターセッションという形をとった学校では、同じテーマでも考える視点が異なる班の発表も聞くことができ、刺激になったと感じる子どもも多かった。

③～⑤について、今回の調査・研究では一部の班がこれらの形で取り組んだ。調査しリーフレットにまとめたものを、関わった施設等に置いてもらうことを考えている班や、取組みについてまとめたことを商店街や高齢者福祉施設等で周知することを今後計画している班もある。また、自治会連合会長さんにお願いをして自分たちの作成したポスターを地域に掲示してもらえるようなったり、商店街のお店に協力し

てもらいながら企画・開発した和菓子を実際に販売したりできたことで、達成感や社会参画への実感を得ることができた。家庭や学校で出るごみを使って制作・ものづくりを行う班では、作ったものを見たり触れたり等、相手に体験してもらいながらまとめ・表現を行った。ものづくりにおける工夫や、見たり触れたりした感想等を伝え合う対話へとつながった。

このように、まとめ・表現の方法は多様であり、自校の実態や課題に合わせながら、子どもたちが自分たちで選択・決定する機会をつくることを大切にしたい。

7　全体考察と今後の展望

これまで、子どもの変容や探究のサイクルにおける４つのプロセスについての成果と課題を整理してきた。そこから、探究的な学びを充実させるためのポイントについて明らかになったことは以下の３つである。

１つめは、「子どもたちが自分で選択し、決定する場面があること」である。担任の先生も、「直接話を聞くことや調べることを通して、『じゃあもっとこうした方がいいのかな』『こんな企画を実行したい、もっとこんなことを専門家に聞いてみたい』と、自分たちで課題の解決方法を探り出すようになった。」と実践後のインタビューで語っている。それは、教師が一方的に道筋を与えることでは決して育まれない力であると言える。

２つめは、「レジリエンス※を育む場面があること」である。レジリエンスは、変化の激しい社会を生き抜いていくためには欠かせない力であり、探究的な学びにはそれらを育む機会が多くある。「収集した情報が予想に反したものであった」、「相手にうまく伝わらなかった」、「対話の中で課題を指摘された」など、今回の STEAM 探究教育の中で、子どもたちは多くの困難や失敗を経験した。「やる気」や「楽しさ」の数値が大きく下がりながらも粘り強く取り組んだ。机上だけで考えるのではなく、段ボールや 3D プリンターなどを使って「つくってみる」「やってみる」ことで次の問いが見つかる班もあれば、新たな気づきが生まれた際に「（改めて）調査を行いたい」と課題解決に必要な行動をとる班もあった。

3D プリンターでプロトタイプをつくってみる

伴走した教職員も「（自分たちが想定した通りに）うまくいかなかった班がほとんどだった。真剣だからこそ想像通りにいかなかったときの葛藤が大きく意見もぶつかったが、初めの解決したい思いが強かったからこそ乗り越えられた。自分たちなりに何とか解決方法を考え、選択し、価値判断をする中で成長していった。」と話している。

こうした子どもたちの姿や先生たちの言葉は、思わぬ困難や挫折に出会いながらも、試行錯誤し、自らの力で乗り越える力を育んでいくことの重要性を示している。

最後の１つは、「教職員が学びの伴走者であること」である。子どもたちの立てた課題に対して「どうしてそう思ったの？」や「課題が解決した 100%の状態ってどんなの？今は何%？」、「どうすればうまくいくと思う？」と問い返したり思考を促したりする役になることである。時には一緒になって本気で悩んだり解決の糸口が見えたときには喜んだりするジェネレーター※としての教職員の姿もまた子どもたちの学びをさらに進めることにつながった。今回、設定した課題が自分たちからは遠く、自分事になりきれていなかった班にも担任の先生が根気強く対話をし、初めは「どうせ考えても…」と話していた子どもが「とりあえずやってみることからはじめよう」と前向きになり「このアイデアではうまくいかなかった。改善の余地あり」と心から解決したいものになって自ら行動していく姿には、まさに STEAM 探究教育において育みたい資質・能力の一端が表れていると言えるのではないだろうか。

以上、探究的な学びを充実させるためのポイントを大きく３つ挙げた。とりわけ、今回の調査・研究において、伴走者としての支援がもたらす効果の大きさが明らかとなった。伴走者の声かけや働きかけが質的にも量的にも増加した授業では、子どもたちの「成長」や「やる気」などすべての項目において上昇が見られたことからもそれが分かる（「３　子どもの変容（１）アンケート結果より」）。また、調査を進める中で、効果の高かった声かけの中には「考えを引き出す」「思考を促す」などいくつかの視点が含まれていることが分かってきた。今後、具体的にどのような場面においてどのような声かけや働きかけがより効果的であるのか等について、引き続き調査を続けていきたい。

先に述べたように、これからの社会はより複雑に変化し、その速度はより加速していくこととなる。次世代を担う人材に求められる力は「変化を受け入れて、前に進みぬく力」「新しいものを生み出す力」である。そうした力の獲得には、子どもが「なぜ〇〇なんだろう」と自ら問いを立て、解決に向けて情報収集や整理分析をしたり、周囲と意見交換・協働したりしながら進めていく学びが欠かせない。教職員の指導観・授業観の転換も重要となる。その点で、STEAM 探究教育に取り組む意義は改めて大きいと言える。

今後、調査・研究成果をさらに積み重ねることで、探究のサイクルにおけるそれぞれのプロセスについてより効果的なアプローチや支援等を模索し、STEAM 探究教育の教育効果を明らかにしていきたい。そして、これまでの STEAM 探究教育の調査・研究成果や研究協力校の取組みを広く発信し、各学校園の実態に即して活用されることを通して、東大阪市における STEAM 探究教育の基盤づくりにつなげていきたい。

※レジリエンス…困難や挫折に直面している状況に対して、うまく適応しながら乗り越える力

※ジェネレーター…子どもを駆り立てて、自分も一緒にプロジェクトに参加する人

【引用・参考文献】文部科学省『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　総合的な学習の時間編』

文部科学省『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　総合的な学習の時間編』

文部科学省『今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（小学校編)』

文部科学省『今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編)』

中島さち子（2022)『知識ゼロからの STEAM 教育』幻冬舎

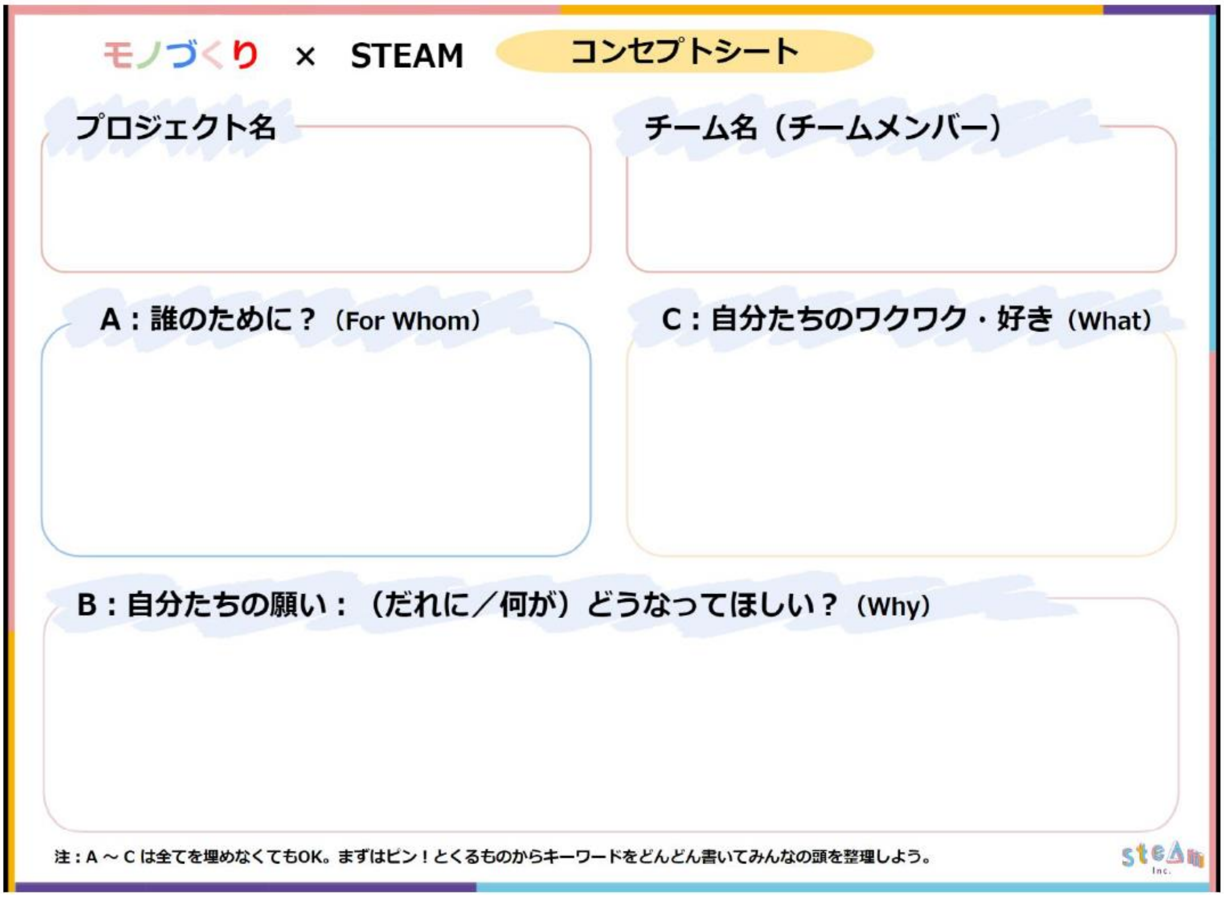
西岡加名恵（2019)『教科の「深い学び」を実現するパフォーマンス評価』日本標準

市川力　井庭崇（2022)『ジェネレーター　学びと活動の生成』学事出版

資料

Ⅰ．ワークシート

①コンセプトシート・計画シート



モノづくり × STEAM コンセプトシート

プロジェクト名

チーム名（チームメンバー）

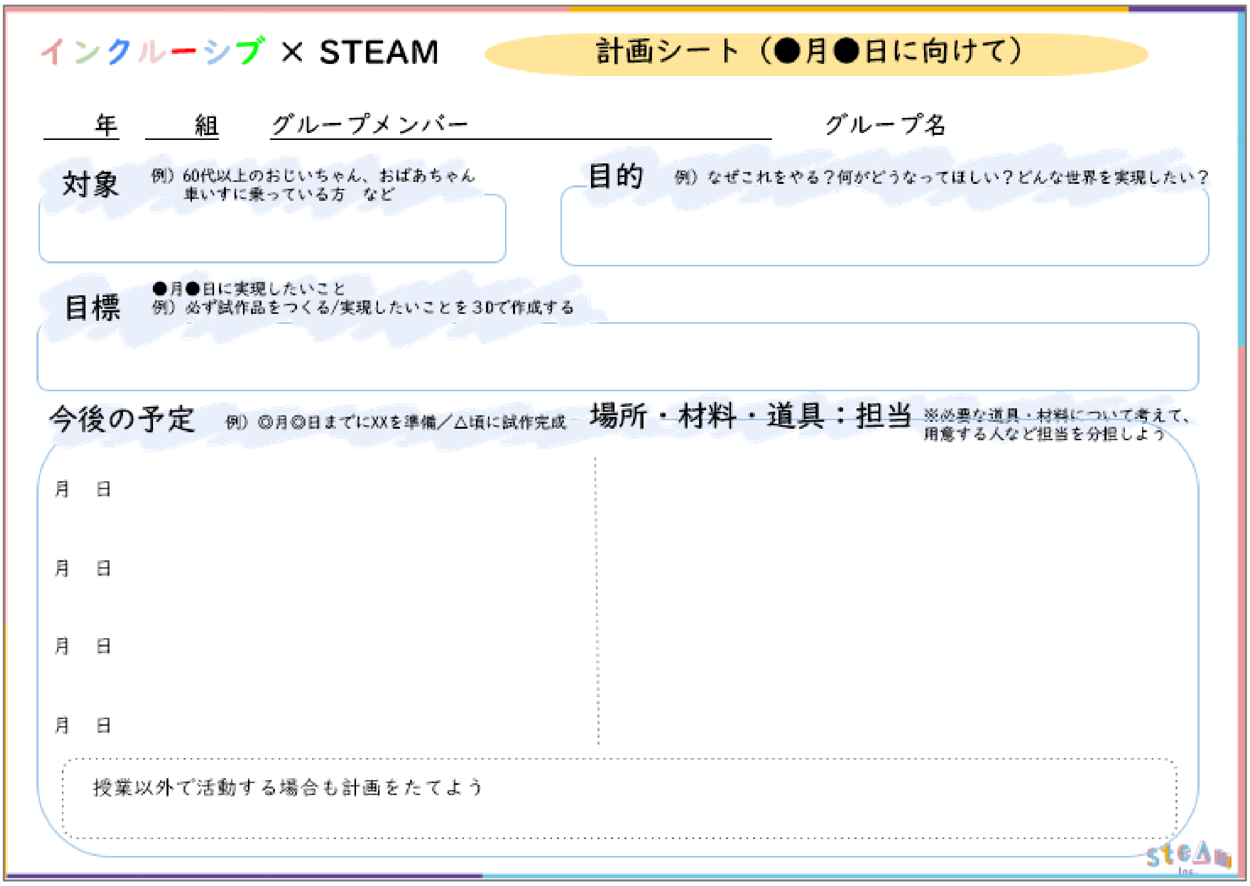
A：誰のために？（For Whom）

C：自分たちのワクワク・好き（What）

B：自分たちの願い：（だれに／何が）どうなってほしい？（Why）

注：A～Cは全てを埋めなくてもOK。まずはピン！とくるものからキーワードをどんどん書いてみんなの頭を整理しよう。

steAm Inc.



インクルーシブ × STEAM 計画シート（●月●日に向けて）

年　組　グループメンバー　　グループ名

対象　例）60代以上のおじいちゃん、おばあちゃん 車いすに乗っている方　など

目的　例）なぜこれをやる？何がどうなってほしい？どんな世界を実現したい？

目標　●月●日に実現したいこと 例）必ず試作品をつくる/実現したいことを3Dで作成する

今後の予定　例）◎月◎日までにXXを準備／△頃に試作完成

場所・材料・道具：担当　※必要な道具・材料について考えて、用意する人など担当を分担しよう

月　日

月　日

月　日

月　日

授業以外で活動する場合も計画をたてよう

steAm Inc.

②役割分担シート

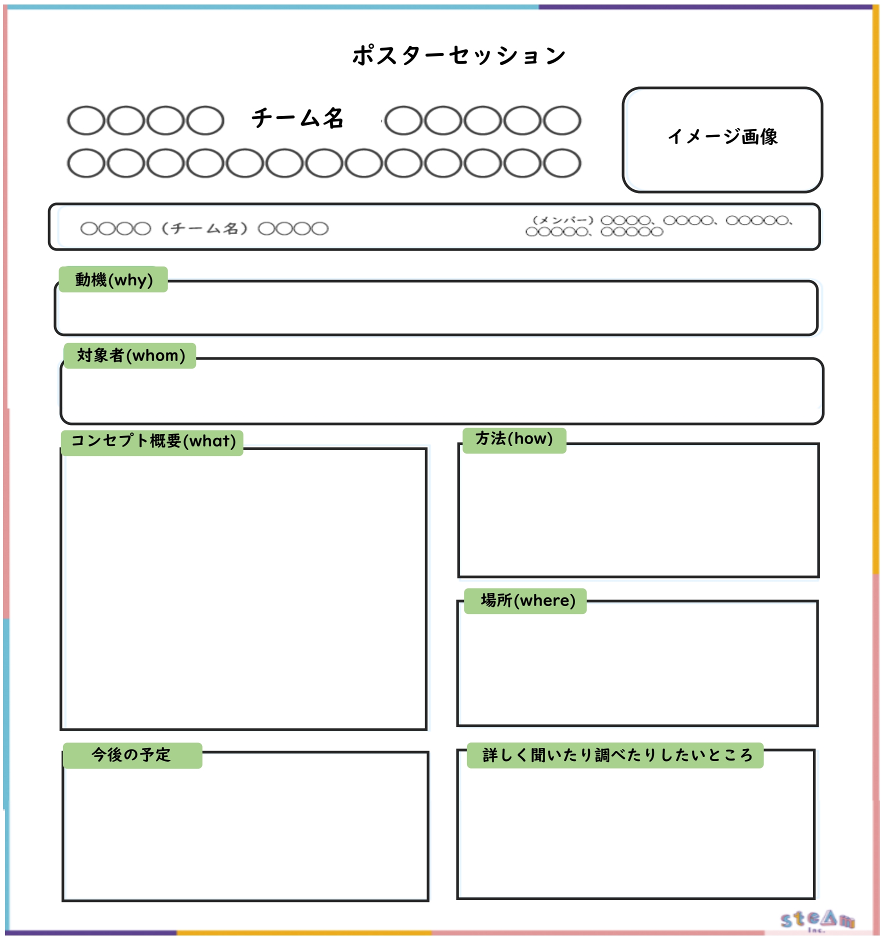
グループの中で役割を決めよう！

グループ名
メンバー

全ての部署（課）を埋める必要はないよ！グループで必要な部署（課）を選んで、担当を決めよう！
また、自分たちで考えた部署（課）があれば空欄に記入しよう！

部署など	課	向いている人	担当
社長・経営企画部	企画戦略家（コンセプト作り）	深く何かを考えるのが好き	
広報部	広報課	絵を描いたりデザインが好き	
開発部（企画）	取材・調査課	人と話したりネットで探したりするのが好き	
開発部（企画）	企画課	アイデアを出したり膨らませたりするのが好き	
開発部（企画）	制作課・技術課	ものを作るのが好き	
開発部（プレゼン）	商品開発課	発表資料を作ったり整理したりするのが好き	
カスタマーサポート	お客様対応課	人前にたって話したり動いたりするのが好き	
カスタマーサクセス	分析課	振り返って情報を整理し俯瞰するのが好き	
営業	新規営業課	人と話したりアピールしたりするのが好き	

③ポスター（まとめ・表現）



④あいうえおフォト＆メモ

２．各教科等 年間指導計画 －STEAM 探究教育と各教科等のつながり－

（１）上小阪小学校

2024年度 小学校4年生 各教科等 年間指導計画

内容／月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
特別活動	学校行事	入学式・始業式 参観・懇談 保健関係検診 家庭訪問	観劇会 遠足 スポーツテスト	水泳学習 日曜参観	水泳学習 個人懇談会 1学期終業式	平和登校日 2学期始業式	避難訓練 2測定	運動会	避難訓練 交通安全教室	個人懇談会 2学期終業式	3学期始業式 大掃除 学校訪問デー	音楽学習発表会 参観	卒業式 愛ガード感謝式 修了式	
	学級活動	学級の目標 休み時間の過ごし方 学級の係活動決め	遠足に向けて	雨の日の遊び	夏休みの過ごし方	学級目標 学級の係活動決め	運動会に向けて	委員会決め		冬休みの過ごし方	健康な体づくり	参観 （音楽・学習発表会）	1年間の振り返り	
	児童会活動	児童集会 1年生を迎える会	児童集会	児童集会	児童集会	児童集会	児童集会 あいさつ運動	児童集会 運動会	児童集会	児童集会	児童集会 あいさつ運動 募金活動	児童集会	児童集会 お別れ会 愛ガード感謝式	
	クラブ活動	クラブ希望調査		クラブ活動開始								1年間の振り返り		
各教科	道徳	1. 道子の赤い自転車 2. お母さんのせい求書	3. アメリカとの出会い ジョン万次郎のぼうけん 4. 折り紙 5. 電話のあらしがやって来た 6. 名人をこす 藤井聡太	7. 花をさかせた水がめの話 8. 雨の停留所で 9. 心の信号機 10. 泣いた赤おに	11. 友だちのしょうこ 12. 山びこ村の二人		13. クラスたいこう全員リレー 14. 温かい言葉 15. つながっている日本と外国 16. ないものはない	17. へこたれないきせきのりんご 18. 石っけんさん 宮沢賢治 19. わたしのいのち 20. 花さき山	21. 休み時間の出来事 22. 友だちが泣いている 23. ビクトリーロード 24. ヘレン・ケラー物語	25. 谷川岳に生きたドクター 26. 神戸のふっこうは、ぼくらの手で 27. かべに付けた手のあと	28. ぼくのおばあちゃん 29. ウミガメの命 30. へらぶなつり	31. 心と心のあく手 32. えがおのクリニクラウン 33. カマキリ	34. いのりの手 35. ばんざい大きな花まる	
	国語	●想像したことを音読で表そう 「こわれた千の楽器」 ●図書館へ行こう ●話を聞いて質問しよう	●文章の組み立てをとらえよう 「ヤドカリとイソギンチャク」 ●わたしのクラスの「生き物図かん」	●物語が変化する場面をとらえよう 「走れ」（物語） ●山場のある物語を書こう ●ローマ字の書き方	●表し方のくふうを考えよう 「広告を読みくらべよう」 ●述語の形、だいじょうぶ？ ●本は友達		●詩を読もう「ふしぎ」「よかったなあ」 ●お願いやお礼の手紙を書こう「ことわざ・故事成語を使おう」 ●クラスで話し合って決めよう ●文の組み立てと修飾語 ●物語の題名の意味を考えよう 「一つの花」	●題名の持つ意味について考えよう 「一つの花」 ●和室と洋室のよさをしょうかいしよう 「くらしの中の和と洋」	●聞いてほしいな、こんな出来事 ●じゅく語の意味 ●人物の気持ちの変化を伝え合おう 「ごんぎつね」	●言葉の意味と使い方 ●百人一首に親しもう ●ブックトークをしよう	●日本語の数え方について考えよう 「数え方を生みだそう」 ●自分なら、どちらを選ぶか	●調べたことをほうこくしよう ●同じ読み方の漢字 ●考えたことを文章にまとめよう 「世界一美しいぼくの村」	●考えたことを文章にまとめよう 「世界一美しいぼくの村」 ●十年後のわたしへ	
	算数	●算数のとびら ●一億をこえる数 ●折れ線グラフ	●折れ線グラフ ●1けたでわるわり算の筆算 ●角とその大きさ	●角とその大きさ ●垂直・平行と四角形 ●小数	●小数 ●見積もりを使って		●2けたでわるわり算の筆算 ●式と計算の順じょ	●式と計算の順じょ ●割合 ●そろばん ●面積	●面積 ●がい数とその計算 ●小数のかけ算とわり算	●小数のかけ算とわり算 ●どんな計算になるのかな	●調べ方と整理のしかた ●見方・考え方を深めよう ●分数	●分数 ●変わり方 ●直方体と立方体	●直方体と立方体 ●わくわくプロミング	
	社会	●わたしたちの住む大阪府 「大阪府のようす」	●わたしたちの住む大阪府 「大阪府のようす」 ●健康なくらしをささえる 「住みよいくらしとごみ」	●健康なくらしをささえる 「住みよいくらしとごみ」	●健康なくらしをささえる 「命とくらしをささえる水」		●自然災害から命とくらしを守る 「大阪府でおきた風水害」	●大阪府に伝わる祭りや行事と先人たち 「受けつがれてきた祭りや行事」	●大阪府に伝わる祭りや行事と先人たち 「大和川のつけかえ」	●大阪府に伝わる祭りや行事と先人たち 「淀川をつくりかえた人々」	●特色ある地いきのくらし 「包丁づくりのさかんな堺市」	●特色ある地いきのくらし 「ぶどう作りのさかんな柏原市」	●特色ある地いきのくらし 「みんなが住みよいまちをめざす豊中市」	
	理科	●季節と生き物（1） 「春の生き物」	●天気と1日の気温 ●自然の中の水のゆくえ（1） 「地面を流れる水のゆくえ」	●自然の中の水のゆくえ（1） 「地面を流れる水のゆくえ」 ●電気のはたらき	●季節と生き物（2） 「夏の生き物」 ●夜空を見上げると（1） 「夏の夜空」 ●自由研究		●自由研究 ●夜空を見上げると（2） 「月や星」	●とじこめた空気や水 ●ヒトの体のつくりと運動	●ヒトの体のつくりと運動 ●季節と生き物（3） 「秋の生き物」 ●みんなで使う理科室	●みんなで使う理科室 ●温度ともの の変化（1） 「ものの温度と体積」	●空を見上げると（3） 「冬の夜空」 ●季節と生き物（4） 「冬の生き物」	●温度とものの変化（2） 「もののあたたまり方」 ●温度とものの変化（3） 「水のすがた」	●自然の中の水のゆくえ（2） 「水のゆくえ」 ●これまでの学習をつなげよう ●季節と生き物（5）	
	音楽	「ありがとうの花」 ●スキルアップ 早口でラップを楽しもう！ ●にっぽんのうた みんなのうた 「さくらさくら」	●はくとせんりつ 「ラバーズコンチェルト」 「メヌエット」「トルコ行進曲」 「メリーさんの羊」 「エーデルワイス」	●ひびきのある歌声 「ププポ」 ●にっぽんのうた みんなのうた 「まきばの朝」	●音のスケッチ 音の動き方を生かしてせんりつをつくろう ●めざせ 楽器名人 「ハローサミング」		●曲に合った歌い方 「ゆかいに歩けば」 「とんび」 ●かけ合いと重なり 「アラ ホーンパイプ」	●かけ合いと重なり 「アラ ホーンパイプ」 ●にっぽんのうた みんなのうた 「もみじ」	●日本と世界の音楽 「ソーラン節」 「おはやしづくりにチャレンジ」 「秩父屋台ばやし」 「葛西ばやし」 「サムルノリ」「サンバの音楽」 「朝の歌」「おどれサンバ」	●音のスケッチ 音階をもとにして音楽をつくろう	●パートの役わり 「ラ クンパルシータ」 ●音楽のききどころ 「ノルウェー舞曲 第2番」	●思いに合った表現 「遠き山に日は落ちて」 ●思いに合った表現 「グッデーグッバイ」	●音のスケッチ 役わりをもとに音楽をつくろう	
	図工	●絵 絵の具のぼうけん、たのしさ発見！ ●立体 つけて、のばして、生まれる形	●絵 木々を見つめて	●工作 つないで組んで、素敵な形 ●造形遊び つながれ、広がれ！だんボール	●工作 かみわざ！小物入れ		●絵 へんてこ山の物語	●立体 どろどろカッチン ●造形遊び わくわくネイチャーランド	●工作 本から飛び出した物語	●工作 飛び出すハッピーカード ●絵 何にかこうかな	●鑑賞 絵から聞こえる音	●絵 ほって表す不思議な花	●工作 トントンつないで ゆめいろランプ	
	体育	●体ほぐし ●スポーツテスト ●50m走 ●リレー	●マット運動 （大きな前転・壁倒立 補助倒立） ●50m走 ●リレー（スポーツテスト）	●マット運動 （大きな前転・壁倒立 補助倒立） ●鉄棒 （片膝前回り、片膝逆上がり）	●クロール（息継ぎなし）		●表現運動	●跳び箱 ●基本的な 支持跳び越し技 （切り返し系、台上前転） ●高跳び（主に着地）	●跳び箱 ●基本的な 支持跳び越し技 （切り返し系、台上前転） ●高跳び（主に着地）	●ポートボール ●ベースボール型	●ポートボール ●ベースボール型	●器械運動 （組み合わせ技） ●サッカー	●サッカー	
	外国語活動	Hello,world! 世界のいろいろなことばで あいさつをしよう	Hello,world! 世界のいろいろなことばであいさつをしよう	Let's play cards. すきな遊びをつたえよう	I like Monday. すきな曜日は何かな？		What time is it? 今、何時？	Do you have a pen? おすすめの文房具セットを つくろう	Do you have a pen? おすすめの文房具セットを つくろう	Alphabet アルファベットで文字遊びを しよう	What do you want? ほしいものは何かな？	This is my favorite place. お気に入りの場所をしょうかいしよう	This is my day. ぼく・わたしの一日	ゲストティーチャーを招いて学ぶ
	未来市民教育	＜夢TRY科＞ ●安心へのエネルギー	＜夢TRY科＞ ●安心へのハードル ●安心してくらすために ＜夢スクラム科＞ ●環境学習	＜夢TRY科＞ ●防災は日ごろから ＜夢スクラム科＞ ●環境学習 ●なかよし交流会	＜夢TRY科＞ ●防災は災害が起こる前に ＜夢スクラム科＞ ●平和学習		＜夢TRY科＞ ●防災は災害が起こる前に ＜夢スクラム科＞ ●大和川のつけかえ	＜夢TRY科＞ ●社会でお金が決めるもの ＜夢スクラム科＞ ●スマホ携帯安全 ●カラフルコミュニケーション	＜夢TRY科＞ ●社会でお金を使うとき ＜夢スクラム科＞ ●集いの事前学習 ●カラフルコミュニケーション	＜夢TRY科＞ ●社会でお金を使うとき ＜夢スクラム科＞ ●食育 ●カラフルコミュニケーション	＜夢TRY科＞ ●仕事を知ろう ＜夢スクラム科＞ ●助産師さんの講話 ●カラフルコミュニケーション	＜夢TRY科＞ ●仕事を職業へ ＜夢スクラム科＞ ●カラフルコミュニケーション	＜夢TRY科＞ ●夢を持ち続けるモノづくり ＜夢スクラム科＞ ●育ちゆくからだとわたし	
	STEAM探究						都市鉱山について	PC解体	情報収集	整理分析	整理分析	発表① 学習発表会	発表② 他学年へ	

（２）上小阪中学校

令和６年度 教育活動年間計画（上小阪中 １，２学期）

月		7月	8月	9月	10月	11月
主たる行事行事等		・水泳大会 ・二者懇談		・芸術鑑賞 ・奈良校外学習 ・文化芸術活動	・文化発表会 ・実践研究分科会	・授業参観 ・情報教育講演会
未来市民教育	中学校区決定プログラム	・steAm講師＋福祉施設当事者の方との交流	・steAmプレイグラウンド１	・steAm講師＋外部講師との交流 ・障がい者理解体験 （社会福祉協議会出前授業） ・プレゼン作成 ・クラスプレゼン	・学年・中２プレゼン ・steAm講師＋外部講師とのふり返り ・steAm講師＋外部講師との交流と制作 ・課題の再設定 ・steAmプレイグラウンド２ ・プロトタイプの作成・発表（教職員）	・steAm交流・発表（小４・保護者）
	夢TRY					「安心して生活できる制度」
国語		・文法 言葉の単位、五文型、自立語、付属語 ・手紙の書き方		・大人になれなかった弟たちに ・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ・書道	・大阿蘇 ・星の花が降るころに	・いろは歌 ・竹取物語
数学		・方程式		・方程式 ・方程式の利用 ・関数	・比例 ・反比例	・比例、反比例の利用 ・直線と図形
社会		・アジア州 ・日本列島の誕生と大陸の交流		・ヨーロッパ州 ・古代国家の歩みと東アジア世界	・ヨーロッパ州 アフリカ州 ・武士の政権の成立	・地域調査の手法 ・ユーラシアの動きと武士の政治の展開
理科		・身のまわりの物質		・身のまわりの物質	・身のまわりの物質 ・光・音・力による現象	・光・音・力による現象
音楽		・リズム基礎テスト		・魔王 ・ヘ音記号 ・リズム創作 ・音名	・魔王 ・変声期 ・リズム創作	・夏の思い出 ・指揮とは ・ソーラン節・民謡
美術		・レタリング		・レタリング ・デッサン ・色彩構成	・色彩構成	・色彩構成
技術		・設計（キャビネット図）		・構造の工夫 ・木材による製作（本棚or整理棚づくり）	・加工方法の検討 ・木材による製作（本棚or整理棚づくり）	・接合方法の検討 ・木材による製作（本棚or整理棚づくり）
保健体育		・水泳（クロール）		・マット運動 ・ハンドボール ・心身の発達と心の健康 １．体の発育・発達 ２．呼吸器・循環器の発達	・マット運動 ・ハンドボール ・心身の発達と心の健康 ３．生殖機能の成熟１，２ ４．性とどう向き合うか	・心身の発達と心の健康 ５．心の発達（１） ６．心の発達（２）
家庭		・私たちの衣生活 生活を豊かにするために 作って楽しい布作品		・私たちの衣生活 生活を豊かにするために 作って楽しい布作品（刺し子で作る花ふきん）	・私たちの衣生活 作って楽しい布作品（刺し子で作るふきん） 持続可能な衣生活を目指して	・私たちの住生活 もしも住まいがなかったら 住まいの役割と安全な住まい方 住まいと気候風土の関わり
英語		Lesson3 代名詞や指示代名詞(this,that)などを使って、身の回りのものについて話したり、紹介できるようにする。 Take acion 買物時の説明について必要な情報を聞き取ったり、「会話を始める」「相づちを打つ」表現を利用して、コミュニケーションを取れるようにする。		Project1 自分の考えたロボットについて、これまで学んだ英文を利用して、紹介することができるようにする。 Lesson4 ３人称単数現在形を含む文を使って、自分の身近な人について、話をしたり、伝えたりできるようにする。 Take Action 競技会場のアナウンスを聞いて、おおまなか要点をとらえることができたり、「会話を終える」「相づちを打つ」表現を利用して、コミュニケーションを取ることができるうようにする。 Get Plus３ Whichを含む文を使って、ほしい食べ物について応答できるようにする。		Lesson5 現在進行形を含む文を使って、学校生活や写真などについて話たり、伝えたりできるようにする。 Take Action 新作映画の紹介を聞いて、要点をとらえたり、「提案する」「好みを伝える」表現を使って、買い物の場面を再現できるようにする。 Get Plus Whoseを含む文を使って、落とし物などについて応答できるようにする。
道徳		・わたしらしさって？ ・疾走、自転車ライダー ・トマトとメロン ・サッカーの漫画を描きたい ・人のフリみて 富士山から変えていく ・近くにいいた友 ・自分だけ「余り」になってしまう ・使っても大丈夫 ・公平と不公平 ・あったほうがいい？				
特別活動						

（３）縄手北小学校

令和６年度　教育活動年間計画（縄手北小学校　６年生）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事等							・修学旅行					
未来市民教育　中学校区決定プログラム	・平和学習					・修学旅行に向けての取組み ・平和学習				・すべての人の安心		※(　)は教育課程外
未来市民教育　夢TRY	・一人ひとりの防災					☐社会と税金の関わり				・キャリア教育		
未来市民教育　STEAM探究			①商店街散策 ②問いの立て方	①町内会理事との対話	①自由探究 ②夏休みの調査結果の報告	①課題設定(個人) ②テーマ別の情報用の整理・分析	①発表（個人） ②情報収集・整理・分析を学ぶ	①課題設定 ②グループ作成 ③情報収集	①整理・分析 ②まとめ ③発表（グループ）	①振り返り	①発表	
国語	・たずね合って考えよう ・さなぎたちの教室 ・漢字を使おう ・社会教育施設へ行こう ・意見を聞いて考えよう	・三字以上の熟語の構成 ・イースター島にはなぜ森林がないのか ・漢字を使おう ・情報のとびら　原因と結果	・いざというときのために ・文と文とのつながり ・漢文に親しもう ・文字の移り変わり ・風切るつばさ	・漢字を使おう ・つなぐ言葉の使い分け ・インターネットの投稿を読み比べよう ・六年生の本だな		・いま始まる新しいいま ・心の動きを俳句で表そう ・話し合って考えを深めよう ・漢字を使おう ・場面に応じた言葉づかい	・模型のまち ・漢字を使おう ・その修飾は、どこにかかるの？ ・「永遠のごみ」プラスチック ・情報のとびら　情報の信頼性と著作権	・発信しよう、私たちのSDGs ・プレゼンテーションをしよう ・漢字を使おう ・複合語 ・海のいのち	・漢字を使おう ・似た意味の言葉の使い分け ・心に残った、この一文 ・漢字を使おう	・古典芸能への招待状 ・言葉の移り変わり ・宇宙への思い ・漢字を使おう ・情報のとびら　未来への情報活用	・どう立ち向かう？ もしもの世界 ・表現をくふうする ・伝えよう、感謝の気持ち	・成長をふり返って未来へ進もう ・明日への一歩を、言葉とともに 君たちに伝えたいこと／春に
算数	・算数のとびら ・対称な図形 ・文字と式	・分数×整数，分数÷整数 ・分数×分数	・分数÷分数 ・場合を順序よく整理して	・円の面積		・立体の体積 ・データの整理と活用	・「場合をあげて調べて」 ・比とその利用	・図形の拡大と縮小 ・比例と反比例	・「変わり方を調べて」 ・食といのち「見積もりを使って」 ・わくわくプログラミング	・およその形と大きさ ・「割合を使って」 ・すごろく ・わくわくSDGs	・６年のまとめ 数学へのパスポート	・６年のまとめ 数学へのパスポート
社会	・日本国憲法と政治のしくみ	・わたしたちの願いと政治のはたらき ・大昔のくらしとくにの統一	・大昔のくらしとくにの統一 ・天皇を中心とした政治	・貴族が生み出した新しい文化		・武士による政治のはじまり ・今に伝わる室町の文化と人々のくらし	・戦国の世の統一 ・武士による政治の安定	・江戸の社会と文化・学問 ・明治の新しい国づくり	・国力の充実をめざす日本と国際社会	・アジア・太平洋に広がる戦争 ・新しい日本へのあゆみ	・日本とつながりの深い国々	・世界がかかえる問題と日本の役割
理科	・ものが燃えるしくみ	・ヒトや動物の体	・植物のつくりとはたらき ・生物どうしのつながり	・生物どうしのつながり		・水よう液の性質	・月と太陽	・大地のつくりと変化	・大地のつくりと変化	・てこのはたらき	・発電と電気の利用	・自然とともに生きる
音楽	・豊かな歌声をひびかせよう	・豊かな歌声をひびかせよう	・いろいろな音のひびきを味わおう	・いろいろな音のひびきを味わおう		・和音の美しさを味わおう	・和音の美しさを味わおう	・曲想を味わおう	・詩と音楽を味わおう	・日本と世界の音楽に親しもう	・心をこめて表現しよう	・心をこめて表現しよう
図工	・紙が奏でる形と色のハーモニー ・絵のお話で プレゼント	・絵のお話で プレゼント ・いつもの学校が変身	・ゆらめきファンタジーワールド ・すかして重ねて わたしの光 ・心も動き出すからくリンク	・不思議なとびらのむこうには ・わたしのお気に入りの場所		・わたしの二つの気持ち 見て感じて わたしの表現に	・形の中に入ってみると ・ねん土の板から生み出す形 ・墨の達人	・墨や筆の技 水墨画の世界へ ・金属と木でチャレンジ	・金属と木でチャレンジ ・ためして刷って広がる思	・白くなったら見える世界	・わたしはデザイナー 12さいの力で	・ドリームカンパニー
保健体育	・体ほぐしの運動 ・ハードル走	・ネット型 ・鉄棒運動 ・表現、フォークダンス	・表現、フォークダンス ・病気の予防	・クロール、平泳ぎ、 安全確保につながる運動		・短距離走・リレー ・表現	・体の動きを高める運動 ・ベースボール型	・マット運動 ・走り幅跳び、走り高跳びから選択	・跳び箱運動	・病気の予防	・体の動きを高める運動	・ゴール型
家庭	・生活時間をマネジメント	・できることを増やして クッキング	・クリーン作戦で快適に ・衣服の手入れで快適に	・すずしい住まい方で快適に		・ソーイングで生活を豊かに	・ソーイングで生活を豊かに	・こんだてを工夫して	・こんだてを工夫して	・共に生きる地域での生活	・共に生きる地域での生活	・持続可能な社会のために
英語	・英語で言ってみよう ・Unit 1 地域のことを伝えよう ・HOP 1 This is our town	・STEP L1　We are from India. ・Hello, World	・STEP L2　We have Children’s Day in May. 日本の行事や地域の施設・自然について伝え合う We can enjoy skiing. ・先生に行事や施設・自然などを紹介して、地域のことをもっとよく知ってもらう	・Try 道案内 ・Story Time 1 ケンの冒険 Time Travel　1 世界のおはなし		・Unit 2 思い出を伝えよう ・HOP 2 My Memories ・STEP L3　I went to the beach. 夏休みにしたことを伝え合う	・ABC Fun Box 2 ・STEP L4　It was green.現在と過去の状態を比べて、変化を詳しく伝え合う ・Hello, World!	・STEP L5　We had the sports day in October. 小学校の思い出を伝え合う ・JUMP 2　My best memory is the school trip.小学校生活をふり返って、みんなで思い出を共有する	・Try 買い物 ・Story Time 2 ケンの冒険 Space Travel 世界のおはなし The Lion and the Mouse	・Unit 3 将来の夢を伝えよう ・HOP 3 My Dream ・STEP L6　I want to be a singer.将来どんな職業につきたいかを、理由とともに伝え合う	・Hello, World ・STEP L7　I want to join the brass band.中学生になったらしたいことを伝え合う ・ABC Fun Box 3	・JUMP 3　This is my dream! 「これからのわたし」スピーチをする／友だちの夢を応援する ・Story Time 3 ケンの冒険 See You Again. 世界のおはなし The Story of a White Horse ・Try This is me!
道徳	・それじゃ、ダメじゃん ・ほんとうのことだけど…… ・言葉のおくりもの	・命のアサガオ ・先着 100 名様 ・心づかいと思いやり	・緑の闘士 ・カスミと携帯電話 ・ぼくたちの学校 ・地球を一周歩いた男－伊能忠敬－	・ウイルスとの戦い－父にエールを－ ・おかげさまで		・初めてのアンカー ・貝塚博士 ・ぼくだって ・ロレンゾの友達	・上村さんのちょうせん －ひさい犬と共に－ ・天下の名城をよみがえらせる ・生きることをあきらめない ・手品師 A	・エルトゥールル号 ・その思いを受けついで ・自由行動 ・杉原千畝－大勢の人の命を守った外交官－	・人間をつくる道－剣道－ ・自分を守る力って？	・青の洞門 ・二十五人でつないだ金メダル ・ブランコ乗りとピエロ	・わたしのせいじゃない ・最後のおくり物 ・iPS 細胞の向こうに ・消えた本	・アスリート感謝の言葉 ・ゴゴ　九十四歳の小学生
特別活動												

（４）縄手東小学校

令和６年度　教育活動年間計画（縄手東小学校　４年生）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事等			運動会				枚岡神社祭り	なわひが祭り	STEAM発表			
未来市民教育　中学校区決定プログラム	ごみ調べ　パッカー車について				国際理解教育・大和川について・新聞づくり					防災学習		
未来市民教育　夢TRY	自分にとっての健康		安心なまちづくり			社会とお金のバランス				さまざまな仕事 モノづくりのまち東大阪		
STEAM探究	私たちのまち・枚岡神社の祭りを世界に発信！！											
国語	・もしも、こんなことができるなら ・こわれた千の楽器 ・漢字を使おう ・図書館へ行こう ・話を聞いて質問しよう	・漢字辞典の使い方 ・ヤドカリとイソギンチャク ・漢字を使おう ・じょうほうのとびら引用する ・わたしのクラスの「生き物図かん」	走れ ・漢字を使おう ・人物の気持ちと行動を表す言葉 ・山場のある物語を書こう	・漢字を使おう ・ローマ字の書き方 ・広告を読みくらべよう ・述語の形、だいじょうぶ？ ・四年生の本だな―本は楽しむもの		・ふしぎ　よかったなあ ・お願いやお礼の手紙を書こう ・ことわざ・故事成語を使おう ・クラスで話し合って決めよう ・漢字を使おう ・文の組み立てと修飾語	・一つの花 ・漢字を使おう ・くらしの中の和と洋 ・じょうほうのとびら　観点を立ててくらべる ・「和と洋新聞」を作ろう	・つなぐ言葉 ・聞いてほしいなこんな出来事 ・じゅく語の意味 ・ごんぎつね	・漢字を使おう ・人物のせいかくと行動を表す言葉 ・言葉の意味と使い方 ・百人一首に親しもう ・ブックトークをしよう ・漢字を使おう	・数え方を生み出そう ・漢字を使おう ・じょうほうのとびら　理由をぎんみする ・自分なら　どちらを選ぶか	・調べたことをほうこくしよう ・漢字を使おう ・同じ読み方の漢字 ・世界一美しいぼくの村	・漢字を使おう ・十年後のわたしへ
算数	・算数のとびら ・一億をこえる数 ・折れ線グラフ	・1けたでわるわり算の筆算 ・角とその大きさ	・垂直・平行と四角形 ・小数	・「見積もりを使って」		・２けたでわるわり算の筆算 ・式と計算の順じょ ・割合	・そろばん ・面積	・がい数とその計算 ・わすれてもだいじょうぶ 「もとの数はいくつ」	・小数のかけ算とわり算 ・明石海峡大橋のひみつ ・「どんな計算になるのかな」 ・だれでしょう	・調べ方と整理のしかた ・どれにしようかな ・分数 ・変わり方	・直方体と立方体 ・わくわくプログラミング	・わくわくSDGｓ ・もうすぐ５年
社会	・わたしたちの県のようす	・ごみのしょりと活用	・ごみのしょりと活用 ・くらしをささえる水	・くらしをささえる水		・自然災害から命を守る ・**大阪府に伝わる祭り**	・自然災害から命を守る ・**大阪府に伝わる祭り**	・わたしたちのまちに伝わるもの ・**大阪府に伝わる祭り**	・原野に水を引く	・伝統的な工業がさかんな地いき	・土地の特色を生かした地いき	・世界とつながる地いき
理科	・春の生き物	・天気と一日の気温 ・地面を流れる水のゆくえ	・地面を流れる水のゆくえ ・電気のはたらき	・夏の生き物 ・夏の夜空		・月や星	・とじこめた空気や水 ・ヒトの体のつくりと運動	・秋の生き物 ・みんなで使う理科室	・ものの温度と体積	・冬の夜空 ・冬の生き物 ・もののあたたまり方	・もののあたたまり方 ・水のすがた	・水のゆくえ ・生き物の１年間
音楽	・明るい歌声をひびかせよう	・明るい歌声をひびかせよう	・拍の流れにのってリズムを感じ取ろう	・拍の流れにのってリズムを感じ取ろう		・せんりつのとくちょうを感じ取ろう	・せんりつのとくちょうを感じ取ろう	・せんりつの重なりを感じ取ろう	・いろいろな音のひびきを感じ取ろう	・日本の音楽に親しもう	・日本の音楽に親しもう	・曲の気分を感じ取ろう
図工	・いろいろ絵の具研究所 ・はる　はる　はる絵	・紙パックでパックパク むすんで　つないで	・木々を見つめて ・自然の色　どんな色	・つないで組んで　すてきな形		・お気に入りの形 ・ちかごろむちゅうです ・小さくなって遊びにいこう	・どろどろカッチン ・直線と曲線から生まれる形 ・わくわくランドで遊ぼう	・学校もりあげますコット ・本を開くとお気に入りの場面 ・飛び出すハッピーカード	・飛び出すハッピーカード ・ほった線からはじまるお話	・紙の箱だいへんしん ・へんてこ山の物語	・カクカク板を組み合わせたら ・みんなでたのしい　だんボールランド	・ゆめいろランプ
保健体育	・体ほぐしの運動 ・多様な動きをつくる運動	・多様な動きをつくる運動 ・鉄棒運動 ・運動会の練習（エイサー）	・ネット型ゲーム ・体の発育・発達	・浮いて進む運動、もぐる・浮く運動		・表現 ・リズムダンス ・・かけっこ・リレー	・マット運動 ・幅跳び、高跳びから選択	・ベースボール型ゲーム ・かけっこ 小型ハードル走	・多様な動きをつくる運動	・多様な動きをつくる運動	・跳び箱運動	・ゴール型ゲーム
英語	・Hello, world!世界のいろいろなことばであいさつをしよう	・Let’s play cards.すきな遊びをつたえよう	・I like Mondays.すきな曜日は何かな？	・What time is it?今、何時？		・Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう	・Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう	・Alphabet　アルファベットで文字遊びをしよう	・What do you want? ほしいものは何かな？	・This is my favorite place.お気に入りの場所をしょうかいしよう	・This is my favorite place.お気に入りの場所をしょうかいしよう	・This is my day.ぼく・わたしの一日
道徳	・目覚まし時計 ・あいさつができた ・小さな草たちにはく手を	・ブルラッシュ ・さち子のえがお ・あなたの時間にいのちをふきこめば	・ちこく ・決めつけないで ・いのりの手 ・雨のバスていりゅう所で	・ええことするのは、ええもんや！ ・ぼくの草取り体験 ・		・家族の一員として ・マルガレーテ・シュタイフ－テディベアを作った人－A 希望と勇気、努力と強い意志 ・交流学習の前に ・ほんとうに上手な乗り方とは	・花さき山 ・遠足の朝 ・いじりといじめ ・お父さんのじまん	・ヒキガエルとロバ ・とびらの前で ・新次のしょうぎ ・雨ととの様	・つくればいいでしょ ・聞かせて、君の声を！	・朝がくると ・ネコの手ボランティア ・金色の魚	・三つのつつみ ・「まっ、いいか」でいいのかな ・よわむし太郎 ・わたし、まちがってないよね	・かわいそうなぞう ・浮世絵－海をわたったジャパン・ブルー－
特別活動												

（５）縄手北中学校

令和６年度　教育活動年間計画（縄手北中学校）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事等												
未来市民教育　中学校区決定プログラム	**・国際理解教育 ・キャリア教育（聞取り学習） ・仲間づくり ・進路学活①**					**・仕事について ・文化祭を通して ・運動会を通して ・命の教育 ・STEAM探究学習（社会課題を解決する）**				**・進路学活② ・障害者理解教育 ・進路決定に向けて**		
未来市民教育　夢TRY	・世界のルール					・防災は災害の後にも ・扱う情報				・社会で考えるそれぞれの健康 ・仕事の条件		
国語	・見えないだけ ・アイスプラネット ・[聞く]問いを立てながら聞く ・季節のしおり　春	・枕草子 ・情報整理のレッスン　思考の視覚化 ・多様な方法で情報を集めよう　職業ガイドを作る ・漢字に親しもう ・クマゼミ増加の原因を探る	・思考のレッスン1　具体と抽象 ・資料を示してプレゼンテーションをする ・漢字に親しもう ・単語をどう分ける？ ・メディアの特徴を生かして情報を集めよう　「自分で考える時間」をもとう	・短歌を味わう［書く］短歌を作ろう ・言葉の力 ・言葉１　類義語・対義語・多義語 ・もっと「伝わる」表現を目ざして ・読書を楽しむ ・翻訳作品を読み比べよう ・季節のしおり		・盆土産 ・字のない葉書 ・質問で思いや考えを引き出す ・手紙や電子メールを書く ・[推敲]表現の効果を考える ・敬語	・同じ訓・同じ音をもつ漢字 ・モアイは語る――地球の未来 ・根拠の吟味 ・意見文を書く ・漢字に親しもう ・[討論]異なる立場から考える ・討論で多角的に検討する	・音読を楽しもう 月夜の浜辺 ・季節のしおり 秋 ・源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語 ・扇の的 ――「平家物語」から ・仁和寺にある法師――「徒然草」から ・漢詩の風景	・君は「最後の晩餐」を知っているか　「最後の晩餐」の新しさ ・魅力を効果的に伝えよう　鑑賞文を書く ・漢字に親しもう ・文法への扉２　走る。走らない。走ろうよ。 ・日本に野生のゾウやサイがいた頃クモの糸でバイオリン ・季節のしおり　冬	・走れメロス ・漢字に親しもう ・文法への扉３　一字違いで大違い	・「ある日の自分」の物語を書く ・話し言葉と書き言葉 ・漢字３　送り仮名 ・テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る	・木 ・学習を振り返ろう
数学	・式の計算 ・文字式の利用	・連立方程式 ・連立方程式の利用	・一次関数とグラフ	・一次関数と方程式		・一次関数の利用	・平行と合同 ・証明	・三角形	・四角形	・場合の数と確率	・箱ひげ図	章末問題
社会	・歴史：近世の日本	・歴史：近世の日本	・地理：地域調査の手法 ・日本の地域的特徴	・地理：日本の諸地域		・地理：日本の諸地域	・地理：日本の諸地域	・地理：日本の諸地域	・地理：地域の在り方	・地理：地域の在り方 ・歴史：開国と近代日本の歩み	・歴史：開国と近代日本の歩み	・歴史：開国と近代日本の歩み
理科	・[物質]化学変化と原子・分子	・[物質]化学変化と原子・分子	・[物質]化学変化と原子・分子 ・[生命]生物の体のつくりとはたらき	・[生命]生物の体のつくりとはたらき		・[生命]生物の体のつくりとはたらき	・[生命]生物の体のつくりとはたらき ・[地球]地球の大気と天気の変化	・[地球]地球の大気と天気の変化	・[地球]地球の大気と天気の変化	・[エネルギー]電流とその利用	・[エネルギー]電流とその利用	・[エネルギー]電流とその利用
音楽	・生命が羽ばたくとき語りあおう	・リコーダー　誰も知らない私の悩み　レヴェル・ブレイン　サムのひとりごと カノン２　優しき流れ	・八分音符と四分音符を組み合わせるリズム創作	・ボレロ　火星		・浜辺の歌　早春賦	・箏　荒城の月 ・平調子を活用する　音楽づくり	・交響曲第５番ハ短調　小フーガト短調	・You Can Fly！	・雅楽「越天楽」　舞楽「左舞・右舞」	・そよぐ風の中で	・郷土の音楽や芸能　「鹿踊」「獅子舞」
美術	・あなたの美を見つけて	・視点の冒険	・つくって使って味わう工芸	・手から手へ受け継ぐ		・浮世絵はすごい	・文化の出会いがもたらしたもの ・ジジジチカピカ ポッポッパッ	・瞬間の美しさを形に	・なんでこれが美術なの？	・ひと目で伝えるための工夫	・水と筆を操る	・暮らしやすさのデザイン
技術	・生物育成の技術の原理・法則と仕組み ・生物育成の技術による問題解決	・生物育成の技術の原理・法則と仕組み ・生物育成の技術による問題解決	・生物育成の技術の原理・法則と仕組み ・生物育成の技術による問題解決	・社会の発展と生物育成の技術		・エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み	・エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み	・エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み	・エネルギー変換の技術による問題解決	・エネルギー変換の技術による問題解決	・エネルギー変換の技術による問題解決	・社会の発展とエネルギー変換の技術
保健体育	・集団行動 ・ラジオ体操 ・陸上競技（短距離走）	・器械体操（マット・跳び箱）	・器械体操（マット・跳び箱） ・水泳 ・保健（心身の発達と心の健康）	・水泳		・陸上競技 （短距離・リレー・ハードル・高跳び） ・運動会練習	・運動会練習 ・武道（剣道）ダンス	・武道（空手） ・ダンス ・保健（自然災害を知る） ・バスケットボール ・ソフトボール	・球技 ・バレー	・球技 （バレー・サッカー・バスケット）	・陸上競技（長距離） ・球技（バレー・サッカー・バスケット） ・保健	・陸上競技（長距離）
家庭	・衣服の選択と手入れ	・衣服の選択と手入れ	・生活を豊かにするための布を用いた製作	・消費者の権利と責任［環境］		・住居の機能と安全な住まい方 ・消費者の権利と責任［環境］	・住居の機能と安全な住まい方 ・消費者の権利と責任［環境］	・金銭の管理と購入	・金銭の管理と購入	・金銭の管理と購入	・消費者の権利と責任	・家族・家庭と地域
英語	Starter This Month’s Books Lesson 1 Peter Rabbit ●イギリス文学，ピーターラビット GET Part 1 ◎When my mother came .... / If it is clear, ... GET Part 2 ◎I think (that)	Take Action! Listen 1 どんなストーリーなの？ 試着してもいいですか ◎May I ...? 文法のまとめ Lesson 2 My Dream ●自分の将来像，将来の夢 ◎Koji wants to read .... / My dream is to be	◎ Tom went to ... to play ～. / something to eat 将来の夢を紹介しよう チャリティーのお知らせ 写真を撮ることは楽しい ◎It is ... (for A) to ～. 文法のまとめ	Lesson 3 Every Drop Counts ●自然科学，社会貢献活動 ◎There is [are] .... / Is there ...? ◎I like playing .... / Playing soccer is .... 魚釣りをしてはいけません ◎must / must not 文法のまとめ		Lesson 4 Uluru ●オーストラリア，地域の文化 ◎I will give him a wallet. ◎We call him Tom. / It makes me happy.	◎have to / don’t have to 文法のまとめ Reading for Information 2 Lesson 5 Things to Do in Japan ●旅行･観光，異文化体験 ◎longer than ... / the longest in … ◎ more popular than ... / the most ◎as cute as ... / walk faster than …	Take Action! Listen 4 Take Action! Talk 4 演奏の仕方を教えましょう ◎how など + to 文法のまとめ Reading for Information 3 公園の看板 Project 2 修学旅行のプランを提案しよう	Lesson 6 Tea from China ●中国，お茶の文化と歴史 ◎I have lived .... / Miki has lived .... ◎Have you lived ...? / How long have you lived ...?	Take Action! Listen 5 Take Action! Talk 5 ◎Could you ...? Reading for Information 4 Lesson 7 Rakugo Goes Overseas ●日本の伝統文化，英語落語 ◎I have just finished .... ◎Amy has visited ... twice	Take Action! Listen 6 プレゼントの相談 Take Action! Talk 6 それもいい案だと思うけど 文法のまとめ Project 3 ディスカッションをしよう	Reading for Fun 2 The Little Prince
道徳	・自分の弱さと戦え ・おばちゃんのくれた〝おまじない〟 ・挨拶は言葉のスキンシップ	・最後のパートナー ・五月の風―カナ― ・五月の風―ミカ―	・リスペクト　アザー ・名乗り出なかった ・戦争を取材する ・海と空―樫野の人々―	・美しい鳥取砂丘 ・和樹の夏祭り		・ハイタッチがくれたもの ・ヨシト ・ネット将棋 ・樹齢七千年の杉	・「自分」ってなんだろう ・小さな工場の大きな仕事 ・体験ナースをとおして ・行動する建築家坂　茂	・さよなら，ホストファミリー ・夜のくだもの屋 ・初心 ・ライバル	・オーストリアのマス川 ・よみがえれ，えりもの森	・ダショー・ニシオカ ・コトコの涙 ・門掃き	・避難所にて ・命を見つめて―猿渡瞳さんの六百四十六日― ・足袋の季節 ・恋する涙	・包む ・きいちゃん
特別活動												